

vol.2 Contents

- ① センター長あいさつ
月別利用者数
- ② “Birth Tour” へようこそ！
23年度に行った研修会など
- ③ 臨床シミュレーションセンター
の助産師研修
- ④ 交通案内
利用方法 など

愛知県地域医療再生計画により設立された、名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターは、周産期医療、新生児医療、救急医療の3つ領域の研修を通じて地域の医療安全の確保とチーム医療の向上を目指します。

臨床シミュレーションセンター長 笹野 寛

開設から約1年が経過します。当初に想定した利用者数より倍以上多い延べ7,000名以上の方々に利用して頂いています。県のご支援や名古屋市立大学病院以外の地域の方々の協力を得るとともに、4名の副センター長をはじめとするシミュレーションセンタースタッフ、院内各分野の医療関係者の協力を頂くことで、数多くの研修プログラムを開催することができました。これまでシミュレーションセンターの運営にご理解、ご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

当センターでは、経験の少ない医療従事者が、実際の医療に臨む前に、シミュレーターで訓練することで、医療安全の向上を目指します。また、医療従事者が、臨床では稀にしか経験できないような状況を、多職種チームとしてシミュレーターで経験することで、チーム医療を促進することも目指しています。

シミュレーション研修においては、教える側と教わる側の垣根は低くなります。教わる側の人々が、成人教育の原理を学んだ後に、今度は教える側になる機会も多くあります。教えることは自らが学ぶことに繋がり、他職種参加型シミュレーション教育の中で学んだチーム医療の概念は、実地の医療のなかで、患者安全を高めるために役立つものと確信しております。

シミュレーターを使った訓練は、今後増々必要になると考えます。県内外の他大学病院・地域中核病院との連携を深めながら、地域医療に役に立つセンターになっていきたいと考えています。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新生児蘇生用シミュレーター



講習風景

平成23年度 センター利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
全体	1374	1324	923	658	282	420	285	863	407	525	749	7810
うち学外	82	46	304	184	125	232	89	291	145	197	227	1922

(単位：名)

“Birth Tour” へようこそ！

(I believe that children are our future.)

“誕生する新しい命”を前に、貴方は何が出来ますか？

分娩は“十人十色”ですが、願いは一つ。“安全なお産”です。少子化の進む日本では分娩数は減少していますが、ハイリスク分娩は増加しています。またひとつひとつの妊娠や分娩に関わる医療も、より濃厚なものになってきています。日本の妊婦死亡率や新生児死亡率は世界中でも極めて低く、高い周産期医療水準であることを証明しています。このレベルを維持するため分娩に携わる医師、助産師、看護師、救命救急士らがより高い知識と技術を身につけ、絶妙なチームワークを展開することが重要です。

今、日本は依然として深刻な産婦人科医師、助産師不足です。30歳代までの産婦人科医師の約70%が女性医師であり、出産や育児によって休業した医師や助産師の現場復帰への意欲や情熱をサポートすることが今後の周産期医療を支えるための大きな課題です。最新の周産期医療を学び、自信を持って即戦力としてのスムーズな現場復帰を支援することが大切です。また、助産師や看護師が超音波検査や分娩監視装置を学ぶことで不足する産科医と協力し、サポートし合うことができます。院内助産所の開設を促進し、さらに初期研修以降産科を学ぶ機会の少なかった医師や救急救命士が、妊婦を診察するケースにおいて役立つ知識や技術を習得することも必要です。

そのような目標を掲げ、将来新生児蘇生法（日本周産期・新生児医学会）やALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) Japanなどの講習会を受講し資格の取得を目指す方に役立つ内容を盛り込みながら、2011年度は数々の周産期・新生児医療に関するコースを企画させていただきました。参加された多くの方々に感謝いたします。



シナリオもない、白紙のキャンバスから始めた旅ですが、献身的なスタッフの協力で少しは目的地に近づけたでしょうか。

2012年度も“Birth Tour 2012 (アドバンスコース)”をはじめ、妊娠・分娩に携わる看護師、助産師、医師のみならず、救急救命士を対象にした講習会を数多く企画しています。青田買いも狙いの一つですので、もちろん学生の皆さんの参加も大歓迎です。



分べん成育先端医療センター
副センター長
産科婦人科准教授
尾崎 康彦

写真説明：出産（帝王切開術）
のアシストをさせていただいた
オランウータンのピカちゃん
(東山動物園)と一緒に。

平成23年度に行った研修会など

周産期領域

愛知県新人助産師講習会
愛知県母性衛生学会第8回秋期学術セミナー
名市大 医療・保健 学びなおし講座「Birth Tour 2011」など

新生児領域

日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法講習会 など

救急領域

日本ACLS協会 PALSプロバイダーコース（小児二次救命処置）など
日本ACLS協会 BLSヘルスケアプロバイダーコース（一次救命処置）
日本ACLS協会 ACLSプロバイダーコース（二次救命処置）
日本救急医学会認定 桜山ICLS講習会 など

その他

日本医学シミュレーション学会 CVC講習会
神経ブロック講習会
困難気道講習会 など

臨床シミュレーションセンターの助産師研修

看護部 副看護部長 井出 由美



県新人助産師合同研修

当センターは、救急医療・周産期医療に関する教育に特化して整備されています。看護部の教育担当者であると同時に助産師である私は、その職能の立場からセンターの運営に関わらせていただいています。今回は助産師の立場で、このセンターにおける助産師教育についてお話ししたいと思います。

助産師は、いわゆる“お産婆さん”と言われた時代から大きく様変わりして、社会情勢の変化とともに出生率の低下や人口減社会という大きな節目を迎

えるなか、時代に呼応してその役割と機能が変化しています。全国的に産科医師数の減少や産科医療機関の閉鎖という状況が続き、女性が安心して出産する場所がないという事態が起きました。2008年6月に厚生労働省は「安心と希望の医療確保ビジョン」を発表しており、ここには助産師について「医師との連携の下で正常産を自ら扱うよう、院内助産所・助産師外来の普及等を図るとともに、専門性の発揮と効率的な医療の提供の観点から、チーム医療による協働を進める。またその際、助産師業務に従事する助産師の数を増やすとともに、資質の向上策の充実も図る」とされています。従って、当院のシミュレーションセンターが周産期・新生児医療の発展に寄与することを期待されて設置されたことは、これらの大きな変化の中でしごく当然の事と考えられます。

昨年、当センターでは、愛知県主催の新人助産師研修が開催され、当院の助産師や新生児集中ケア認定看護師が講師を担当しました。また、新生児蘇生法研修においては、県内外から研修生が集まり、当院の小児科医師・産科医師とともにNICU看護師・産科病棟助産師がインストラクターを担当しています。これらの活動は、自分達のスキルアップであるとともに地域の専門家を育成する社会貢献活動と言えます。当大学以外の看護系大学からも、充実したシミュレーターを教育に活用するために教員・学生が来場しており、このセンターが地域医療の充実・医療安全の向上に果たす役割は、ますます拡大し、そして、ますます活発な活動が期待されています。

今後も、地域医療の向上を目指したセンターの教育研修を充実させていきますので、皆様のご利用をお待ちしております。

看護部静脈注射研修



医学部5年生BSL



CVC講習会



PALS講習会

新生児蘇生法講習会

センタースタッフ



後列左より 事務課田中、飯塚副センター長、増田副センター長、事務課船越、臨床工学技士平松
前列左より コーディネーター西野、片野副センター長、笹野センター長、井出副看護部長

新任副センター長紹介

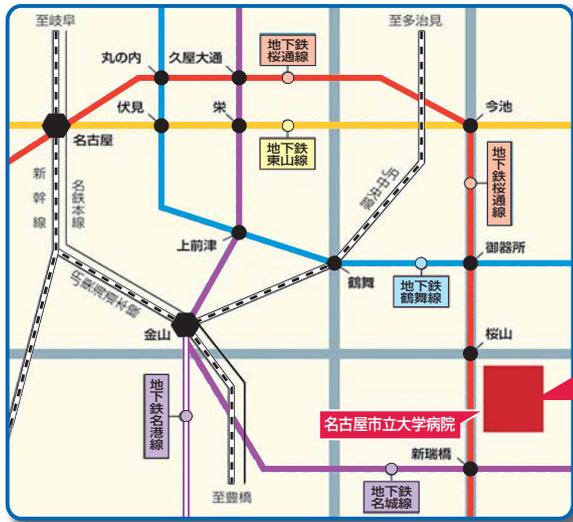


加藤 丈典 (新生児医学)

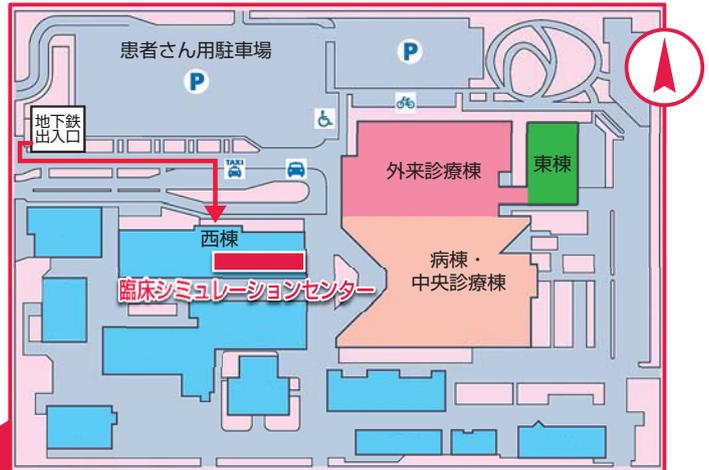
新生児蘇生法講習会を担当します。日々の臨床に役立つ「生きた知識・使える技術」を習得できるような講習会を開催していきたいと思います。

加藤稲子副センター長の転勤により交代します。

交通案内



桜山(川澄)キャンパス 大学病院内見取り図



名古屋市立大学病院 西棟 1階

[交通機関]

地下鉄 桜通線「桜山」駅下車 3番出口
 市バス 金山7番のりばより金山12「市立大学病院」下車
 金山8番のりばより金山14「市立大学病院」下車
 (一般用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越し下さい)

利用方法

臨床シミュレーションセンター 利用申請書		平成 年 月 日	
臨床シミュレーションセンター長 様			
下記のとおり、利用許可をお願いします。なお、利用にあたっては、利用規則を遵守します。また、万が一、施設、設備及び備品に損害を与えた場合は、速やかにセンター長に報告し、故意又は重大な過失により損害を与えたときは、その損害を弁償します。			
申請者(代表)	所属： 氏名： 連絡先(内線等)： メールアドレス：		
指導者又は紹介者	所属： 氏名： 連絡先(内線等)：		
利用日時	平成 年 月 日 () : ~ ()		
利用目的	件名 () <input type="checkbox"/> 臨床技能指導 <input type="checkbox"/> 講習会等 <input type="checkbox"/> 学生の講義・臨床実習 <input type="checkbox"/> 自己修練 <input type="checkbox"/> その他 () (※分欄に✓)		
利用する施設、設備・物品及び数量	施設、設備及び物品名 数量 <input type="checkbox"/> 調産期・新生児シミュレーター室 <input type="checkbox"/> 多目的室 <input type="checkbox"/>		
利用人数	医師職 助産師 看護師 研修医 医学部生 職種5 その他 合計		
備考	No.		
提出先：臨床シミュレーションセンター 事務局(西棟1階) 電話：052-853-8429 Fax：052-853-8436 Mail：simncu@med.nagoya-cu.ac.jp			
臨床シミュレーションセンター 利用許可書		平成 年 月 日	
下記のとおり利用を許可します			
利用日時	平成 年 月 日 () : ~ ()		
所属講座申請代表者	所属： 氏名： 連絡先(内線等)： メールアドレス：		
利用目的	件名 ()		
備考	No.		
・使用する際に、本書を臨床シミュレーションセンターに提出して下さい。時間外は防災センター(052-858-7504)に提示し、鍵を受け取ってください。 ・入室・退室時には、必ず利用簿に所定事項を記入してください。 ・センター長の許可印の無いものは無効とします。 ・万が一、施設、設備及び備品に損害を与えた場合は、速やかにセンター長に報告して下さい。故意又は重大な過失により損害を与えたときは、その損害を弁償していただきます。 連絡先：臨床シミュレーションセンター(西棟1階) 電話：052-853-8429			許可印

- ・ホームページ(URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>)より利用申請書をダウンロードしてFAX、郵送または受付まで持参していただけますと、センターより利用許可証をお届けします。
- ・使用予定日の6ヶ月前の月の最初の平日よりお申し込みいただけます。
- ・特にセンターの設立目的に合った利用のみは6か月以上先の予約でも受け付けます。従って、第1受付日でも既にお申し込みいただけない日ができる場合がございます。ご注意ください。最新の施設空き状況は、お電話にてお問い合わせください。
- ・使用目的、使用計画などをお知らせいただきセンター設立目的に合わないものは利用をお断りすることがございます。
- ・平成24年度より消耗品費を徴収予定です。



コーディネーター
西野 静子

受付時間

月一金
9時から17時(祝日除く)

詳しくは、センターホームページをご覧ください。センター事務室までお問い合わせください。

vol.2
(2012.04.01)

発行：名古屋市立大学病院 西棟1階 名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンター
 電話 052-853-8429 FAX 052-853-8436
 E-mail simncu@med.nagoya-cu.ac.jp URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>